

国連の協議資格取得について会見する国際医療援助団体「AMDA」の菅波茂代表（中央）ら＝岡山市内で



## 国連資格昇格で菅波代表会見

# 「積極的に政策提言」

AMDA

インド洋大津波の緊急救援活動などで評価

国連経済社会理事会（ECOSOC）の総合協議資格取得が内定した国際医療援助団体「AMDA」（本部・岡山市櫛津）の菅波茂代表は23日、岡山市内で記者会見。

「岡山からの国際貢献を目指す」「西のジュネーブ、東の岡山」のスローガンを実現するため、積極的に国連に政策提言したい」と抱負を語った。協議資格授与を話し合うECOSOCの非政府組織（NGO）委員会は毎年1月ごろに開催。AMDAは04年12月に発生したインド洋大津波の緊急救援活動などで国際的な評価を得たことから、

従来の「特殊協議資格」からの昇格を昨年6月に申請していた。

今年20日に米国ニューヨークであった委員会には菅波代表が出席。過去の緊急救援活動の実績などが認められ、全会一致で昇格が内定した。

菅波代表は「これまでの特殊協議資格では相手してもらえない会議もあった。昇格で今後の活動が進めやすくなる」と意義を強調。「同じ資格を持つ世界のNGO136団体とネットワークをつくり、援助活動を強化したい」と述べた。

【四谷寛】